

# 1 県の取組み状況(令和6年度)について

## (3) いつまでも続く豊かな熊本



### <(施策1)豊かな自然の保全、(施策2)移住定住、関係人口創出>

#### 地下水位のリアルタイム配信の運用開始

##### 【目的】

地下水位に関する正しい情報の発信及び半導体関連企業の集積に伴う地下水量に対する県民の不安解消

##### 【概要】

- ◆菊陽町原水(セミコンテクノパーク内)と熊本市水前寺の2箇所で地下水位のリアルタイム発信開始(R6.12)。
- ◆35箇所目となる新たな観測井戸(熊本第18号)を合志市竹迫に設置、リアルタイム発信対象井戸を3箇所に拡大(R7.3)。



▲地下水位のリアルタイム発信の画面

#### 移住定住・UIJ ターン加速化に向けた取組み

##### 【目的】

県外在住者のUIJターン就職の後押し及び県内への人材還流の促進

##### 【概要】

- ◆東京、大阪、福岡及び県内にくまもと移住定住・UIJターン就職支援センターを設置し、県外在住の求職者等に、相談対応、情報提供及び就職マッチング等を実施。(県内に就職した人数:104名、マッチングサイトに新たに掲載された求人数:2,321件)
- ◆県外の求職者を対象にしたUIJターン就職関連イベント等を開催(東京やオンライン等)。
- ◆本県へのUIJターンにつながるイベントを実施。(17回、241人参加、うち就職決定者数:19人)
- ◆就職活動で来熊する旅費を助成。

#### 「阿蘇」の世界文化遺産登録に向けた取組み

##### 【目的】

「阿蘇」の世界文化遺産登録

##### 【概要】

- ◆文部科学省および文化庁に「阿蘇」の世界遺産暫定一覧表追加に係る提案書を提出。
- ◆提案書から推薦書への将来的なステップアップに向けた学術検討、法的保護に係る現地調査、東京でのシンポジウム開催等。



▲提案書提出



▲阿蘇の景観

#### 市町村の効果的な空き家対策の推進

##### 【目的】

移住希望者の住まいへの不安をやわらげる空き家対策の市町村支援

##### 【概要】

- ◆空き家改修費用の一部を助成(3棟)。
- ◆空き家対策に精通した専門家を活用する経費の一部を助成(10市町村・延べ61人)。

# 1 県の取組み状況(令和6年度)について

## (3) いつまでも続く豊かな熊本

### <(施策3)魅力ある地域づくり、(施策4)社会の多様性>

#### 地域未来創造会議の設置・開催

##### 【目的】

地域の未来像をともに描き、地域振興・経済振興・観光振興を推進

##### 【概要】

- ◆令和6年12月から令和7年3月に、振興局単位で全ての地域(10地域)において 知事と市町村長、地元県議等が出席する「地域未来創造会議」を開催。
- ◆会議では、知事、市町村長がそれぞれの地域に対する思いや様々な事項について、意見交換や議論を行った。

##### (議論された主な事項)

- ・観光振興 ・企業誘致 ・スポーツ施設の連携
- ・移住定住、二地域居住 ・公共交通の連携
- ・県立高校の魅力化 ・若者・人材の地元定着
- ・台湾との交流 等

#### 御所浦及び湯島の活性化に向けた取組み

【目的】 地理的ハンディキャップの軽減、離島振興策の強力な推進

##### 【概要】

- ◆地域おこし協力隊の配置。
- ◆御所浦の振興(島あじマラソン、化石採集クルージング、烏峠トレッキング)。
- ◆湯島の振興(峯公園環境整備、商店等改修補助)。

#### 障がい者の社会参加支援

【目的】 障がい者の社会参加と障がいへの理解促進

##### 【概要】

- ◆福祉事業所と農業者とのマッチング支援や、県庁プロムナードで「農福マルシェ」を開催。
- ◆パラアスリートによる講演会を開催。また、パリ2024パラリンピック金メダリスト3選手へ県民栄誉賞を授与。
- ◆改正障害者差別解消法(事業所による障がいのある人への合理的配慮の提供義務化)の周知・啓発。



▲農福マルシェ

#### 「アニマルフレンズ熊本」を拠点とした動物愛護の推進

【目的】 「命を大切にし、やさしさあふれる人と動物が共生するくまもと」の実現

##### 【概要】

- ◆飼い主のいない猫対策として、無料で避妊去勢手術を実施(R6年度:1,000頭)。
- ◆アニマルフレンズ熊本及び保健所の保護犬・猫の譲渡(犬314頭、猫254頭)。
- ◆主に小学生を対象にした「いのちの教室」(41回、1,383人参加)。



▲いのちの教室